

精神神経学講座
Neuropsychiatry

A 欧 文

A-a

1. T. Tsujimura, T. Asou, E. Fukuda, Y. Nakane: Effects of repeated antidepressant treatment on locomotor activities after chronic unpredictable variable stress in adulthood of prenatal stressed Wistar rats. *The International J. of Neuropsychopharmacol.*, 3(suppl. 1), s187, 2000*◇
2. T. Asou, T. Tsujimura, E. Fukuda, Y. Nakane: Effects of various types of stress in adulthood on food intake of prenatal stressed Wistar rats. *The International J. of Neuropsychopharmacol.*, 3 (suppl.1), s197, 2000*◇

A-c

1. Y. Nakane, M. Radford: Intersubjectivity and Its Influence on Psychiatry in Japan, *Ethics Culture and Psychiatry: International Perspectives* Edited by Ahmed Okasha, Julio Arboleda-Florez, Norman Sartorius, American Psychiatric Press, Washington DC, pp133-143, 2000

B 邦 文

B-a

1. 菅崎弘之、中根允文、宇都宮浩、今村芳博、石崎裕香：プライマリ・ケアにおける精神疾患の診療パッケージ(WHO版)の有用性に関するプロジェクト 総合病院精神医学、12、21-29、2000
2. 本田純久、三根真理子、朝長万佐男、今村芳博、吉武和康、高田浩一、畑田けい子、菅崎弘之、園田裕香、中根允文、波多智子、柴田義貞：被爆者の精神的健康状態と被爆状況および生活習慣との関連 広島医学、53、270-272、2000
3. 吉武和康、宇都宮浩、今村芳博、石崎裕香、畑田けい子、菅崎弘之、中根允文：内科外来受診患者の不眠の問題について、九州神経精神薬理、46、2、93-99、2000
4. 石崎裕香、高橋克朗、伊東勉、中根允文：正常圧水頭症を合併した神経梅毒の1例、精神科治療学、15、3、309-315、2000
5. 中根允文、木下裕久：日本における精神分裂病の薬物療法—その現状とアルゴリズムの必要性— 日本神経精神薬理学雑誌、20、271-272、2000
6. 辻村 徹、麻生忠史、福田英二、中根允文：胎生期ストレスラットの暗期行動量に及ぼす抗うつ薬の効果について *Japanese Journal of Neuropsychopharmacology*、20、396、2000 ◇
7. 野口栄二、辻村 徹、中根允文：Haloperidol の非経口投与時における副作用—とくに自殺企図との関連について— 九州神経精神医学、46、77-83、2000
8. 辻村徹、麻生忠史、福田英二、中根允文：胎生期ストレスラットにおける種々の生後ストレス負荷が行動に及ぼす影響についての検討 *Annual Report of Pharmacopsychiatry Research*、32、251-258、2000 ◇
9. 三浦貞則、山下格、小林亮三、浅井昌弘、増田豊、武正健一、山角駿、住吉秋次、高橋明比吉、上島国利、村崎光邦、遠藤俊吉、藤波茂忠、中嶋照夫、河瀬雅紀、林幹夫、西村健、矢ヶ崎明美、中根允文、林田雅希：選択的セロトニン再取り込み阻害薬塩酸パロキセチンのうつ病およびうつ状態に対する前期第II相試験 薬理と治療、28(Suppl.)、s119-135、2000
10. 中根允文、小椋 力、瀧川守国、武市昌士、田代信維、西園昌久、藤井薫、前田久雄、三山吉夫、宮川太平：高齢者を含めた精神分裂病患者に対する olanzapine 長期投与時の有効性および安全性 臨床精神薬理、3、1365-1382、2000

B-b

1. 菅崎弘之、宇都宮浩、中根允文：PCDトレーニング・プログラム：長崎における WHO トライアル カレントセラピー、18、7、13-17、2000
2. 川口 哲、中根允文：軽症うつ病 漢方医学、24、3、140-141、2000
3. 中根允文、前田久雄、石田康、中村純：非定型抗精神病薬への期待—クエチアピンを中心に— ファーマメディカ、18、109-119、2000

4. 中根允文、木下裕久：日本における精神医学・医療の国際交流・国際共同研究 精神神経学雑誌、102、3、303-307、2000
5. 大塚俊弘、中根允文：精神疾患患者の社会復帰 医学と薬学、44、6、1046-1052、2000
6. 中根允文、辻村徹：古典的な心因性精神病 (psychogene psychose, psychogenic psychoses) について 精神医学レビュー、33、79-81、2000
7. 中根允文：胎児性トリメタジオン症候群 日本臨床、30、94-95、2000
8. 中根允文：胎児性アルコール症候群 日本臨床、30、91-93、2000
9. 中根允文：胎児性ヒダントイン症候群 日本臨床、30、99-101、2000
10. 中根允文：自閉症の疫学と遺伝 小児の精神と神経、40、2、79-87、2000
11. 中根允文、小林祥泰子、江藤文夫：座談会 新たな疾患概念としての脳血管性うつ状態 (Vascular Depression) をめぐって JAMA (日本語版) 2000年3月号、102-107、2000
12. 中根允文、有馬敬子：うつ病の原因と症状 薬局、51、2、826-833、2000
13. 辻村 徹、中根允文：ストレス社会におけるうつと不安 臨床と研究、77、873-877、2000

B-c

1. 大塚俊弘、中根允文：精神科診断学体系における PTSD 概念の位置づけ、臨床精神医学講座 (中根允文・飛鳥井望編)、s6巻「外傷後ストレス障害」、中山書店、pp3-17、2000
2. 茅島智彦、辻田高宏：精神疾患における遺伝研究の歴史と方法 differential display (cloning) 法 臨床精神医学講座 (岡崎祐士・米田博編)、s11巻「精神疾患と遺伝」、中山書店、pp90-102、2000
3. 中根允文：精神医学・医療における倫理綱領、臨床精神医学講座 (中根允文・松下正明編)、s12巻「精神医学・医療におけるインフォームド・コンセント」、中山書店、pp53-113、2000
4. 中根允文：精神科的倫理の教育、臨床精神医学講座 (中根允文・松下正明編)、s12巻「精神医学・医療におけるインフォームド・コンセント」、中山書店、pp349-375、2000
5. 菅崎弘之、中根允文：プライマリ・ケアにおける精神医学、臨床精神医学講座 (三好功峰・前田潔編)、s7巻「総合診療における精神医学」、中山書店、pp3-10、2000
6. 中根允文：一般診療科における不安と抑うつ—コモン・メンタル・ディスオーダーの生物・社会的モデル、創造出版、東京、2000
7. 中根允文、社会精神医学研究グループ：プライマリ・ケアにおける精神障害、ライフサイエンス出版株式会社、東京、2000
8. 高木隆郎、M. ラター、E. ショプラー、中根允文、久保絃章、奥野宏二、門真一郎、石坂好樹、古元順子 (編)：自閉症と発達障害研究の進歩 1999/vol.3、日本文化科学社、東京、2000
9. 石崎裕香、山本智一、中根允文：反復性短期うつ病性障害に対する fluvoxamine、ムードディスオーダー・カンファランス (第1回)、星和書店、東京、pp25-29、2000
10. 嶋長正樹、高橋克朗、伊藤勉、中根允文：大脳基底核/視床領域の rCBF 高値を呈し、1Neuroleptic Combo (fluvoxamine+sulpiride) が有効であった OCD の1例、強迫性障害の研究 (OCD 研究会編)、星和書店、東京、pp9-15、2000
11. 中根允文：原爆被爆者の精神的健康、原爆被爆の影響を考える—長崎原爆被爆シンポジウム—、長崎市原爆被爆対策部調査課、長崎市、pp7-13、2000

B-d

1. 辻村徹：妊娠期ストレスラットの感情障害の生物学的モデルとしての可能性について 平成9年度～平成10年の科学研究費補助金 (基盤研究C(2)) 研究成果報告書 (課題番号09670994) 1-41、2000 ◇
2. 辻田高宏、茅島智彦、山下秀次、吉浦孝一郎、小田利香、今村 明、原田誠一、松尾勝久、林田雅樹、中根裕子、本田あおい、浜田旭、藤丸浩輔、松本俊二、与那城竹亮、柳川剛憲、川瀬健一郎、中根允文、新川詔夫、大石道夫、岡崎祐士：一卵性双生児精神疾患不一致例のゲノム差異の検出とクローニング 厚生省精神・神経疾患研究委託費精神疾患の分子生物学的研究 平成9～11年度研究報告書、2000
3. 伊藤弘人、中根允文、吉川武彦：地域調査における合意形成に関する研究—多施設共同研究における研究倫理の確保について 厚生科学研究費補助金(厚生科学特別研究事業)「精神障害の疫学調査における基盤整備に関する研究」平成11年度研究報告書、5-9、2000
4. 中根允文、宇都宮浩、石崎裕香、松林瑞枝、本田純久：地域調査に関するパイロット研究(長崎地区) 厚生科学研究費補助金(厚生科学特別研究事業)「精神障害の疫学調査における基盤整備に関する研究」平成11年度研究報告書、29-38、2000
5. 田崎美弥子、中根允文、宮岡悦良：コンピュータ画像処理による精神疾患患者の表情計測 文部省科学研究費特定領域研究「人文科学とコンピューター・コンピュータ支援による人文科学研究の推進」、1999年度研究成果報告書、

112-113、2000

6. 中根允文：「第19回日本精神科診断学会総会」印象記 精神医学、42、104-105、2000
7. 畑田けい子、辻村 徹：自殺について 長崎市医師会報、34(2)、36-39、2000
8. 中根允文：巻頭言 手をつなごう 心の世紀に みんなの精神保健福祉、19、1、2000

原著論文数一覧

	A-a	A-b	A-c	A-d	合計	SCI	B-a	B-b	B-c	B-d	合計	総計
2000	2	0	1	0	3	2	10	13	11	8	42	45

学会発表数一覧

	A-a	A-b		合計	B-a	B-b		合計	総計
		シンポジウム	学会			シンポジウム	学会		
2000	0	1	6	7	0	2	15	17	24

原著論文総数に係る教官生産係数一覧

	欧文論文総数 (論文総数)	教官生産係数 (欧文論文)	SCI掲載論文 欧文論文総数	教官生産係数 (SCI掲載論文)
2000	0.067	0.375	0.667	0.250

Impact factor 値一覧

	Impact factor	1 教官当たり Impact factor	論文当たり Impact factor
2000	3.666	0.458	1.833